

マリンレジャーでの注意事項

○ 遊泳に関する注意事項

1. 遊泳は海水浴場以外の危険な所では行わない。

人のいない海岸などは急な深みや流れが速い場所など、危険な場所であることが多く、事故になりやすい。

2. 体調が良くない場合は遊泳しない。

遊泳前には準備運動を行きましょう。

3. 飲酒をしておの遊泳は危険であるため避ける。

飲酒をすると判断能力や運動能力が低下し、事故に遭う危険性が高まる。

急激な運動により心臓に負担がかかり事故となる確率が上がる。

過去の事例から遊泳時の飲酒による死亡リスクは飲酒をしていない場合より約5割高く非常に危険である。

4. 子供だけで水辺に遊びに行かない。

5. 小さな子供を連れて遊泳する場合は、保護者等は絶対に目を離さない。

小さな子供は泳力が弱いため、小さな波にも浚われてしまうことがある。

また、溺れた人は、声を出して助けを求めることが困難であるため、騒いでいた子供が急に静かになったら要注意。

6. 気象情報の入手

波が高い、風が強いと感じる場合など遊泳条件が良くないときは無理をせず遊泳を中止する。

7. 遊泳者付近で水上バイク等を航行すると遊泳者と接触する恐れがあり、非常に危険であるため、海水浴場付近での水上バイクの航行は避ける。

8. 離岸流に注意

海水浴場や海岸付近では「離岸流」と呼ばれる流れが発生することがあります。

離岸流については、第七管区海上保安本部海洋情報部 HP で情報提供しています。

http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/marin/rigan/rip_current.htm



○釣等に関する注意事項

1. 釣り等を行う場合は、ライフジャケットを常時着用しましょう。
海に落ちた場合、浮いていることが重要です。
そのためには、ライフジャケットを着用することが極めて重要です。
着用者と非着用者では、非着用者の死亡率が2倍近いデータがあります。
2. 事前に気象状況を確認する。
悪天候が予想される場合、無理をせず中止しましょう。
3. 連絡手段の確保
救助機関へ通報するために携帯電話を携帯しましょう。
水没して使用できなくならないように防水携帯電話、防水パックを使用するなど連絡手段を確保しましょう。
GPS 機能付きの場合、GPS 機能を ON にして118番へ通報すれば通報位置を知ることが出来ます。
4. 単独行動を避けましょう。
事故者が救助を要請することができないことがあります。

